

JRイン帯広、サ高住へ

JR北冬季に改装 22年秋開業

JR北海道の島田修社長は14日の記者会見で、帯広駅前のビジネスホテル「JRイン帯広」をサ高住に改装する方針を発表した。11月30日にホテル営業を終えて冬季に改装工事に入り、2022年秋に入居を始める。建物改装は21年を経過し、大規模改修を検討する中、アフターコロナを見据え、ホテル継続の場合と収支見込みを比べた結果、サ高住への転換を決定した(島田社長)。

同ホテルは2000年1月開業の旧「ホテルヒロー」をJRが買収・改装して11年6月にJRインとして開業した。サ高住は仮称「プランJR帯広駅前」。JRは12年春以来、札幌と小樽で同シリーズの施設を5棟展開している。いずれもミサワホーム北海道が賃借して運営し、帯広でも同じ形式を取る。改装工事の設計施工もミサワホーム北海道が手掛ける。

ホテルは共同浴場や食堂などを備えるため、サ高住への転換が比較的容易という。建物はRC造9階建てで延べ4305平方メートル。複数の客室をまとめて1戸に作り替えるなどの改装を施し、現在の137室を49戸にする。内訳は1ルーム21戸、1LDK14戸、2LDK14戸。

JR北は6月運輸取扱収入24億円で7.7%減、JRBは6月運輸取扱収入14億円で7.7%減、JR北海道が14日発表した2021年6月の収入状況によると、運輸取り扱い収入は24億4700万円で、1年前に比べ7.7%減、19年6月の比では55.7%減だった。5月から続く新

駅前でバスターミナルや病院、商業施設などが徒歩圏にある好立地を生き、入居者を獲得する。事業費は約7億5000万円で、うち1億円弱についてサ高住整備事業の補助金を申請する予定だ。

6月運輸取扱収入24億円で7.7%減、JRBは6月運輸取扱収入14億円で7.7%減、JR北海道が14日発表した2021年6月の収入状況によると、運輸取り扱い収入は24億4700万円で、1年前に比べ7.7%減、19年6月の比では55.7%減だった。5月から続く新

大通西19の土地活用再検討

テーシーコア 月内にも方針

テーシーコア(札幌市中央区大通西19丁目4の78、辻和社長)は、札幌市中央区大通西19丁目1の30を含む敷地4399平方メートルの活用方法を再検討してテレワーク・シェアリングとカラオケルーム、屋上庭園などを整備する。駐車場は平置きと機械式で21台分設ける。設計は自社で担った。

建設地は札幌市中央区北6条西13丁目1の敷地627平方メートル。イオン札幌桑園店やJR桑園駅が徒歩圏内だ。

施設としてテレワーク・シェアリングとカラオケルーム、屋上庭園などを整備する。駐車場は平置きと機械式で21台分設ける。設計は自社で担った。

建設地は札幌市中央区北6条西13丁目1の敷地627平方メートル。イオン札幌桑園店やJR桑園駅が徒歩圏内だ。

一括して畠山建設で

日本グランド 桑園の分譲MS新築

日本グランド(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、分譲マンションのグランファアール桑園パークサイド新築を主体、設備一括して畠山建設に依頼し、着工した。2022年12月末の完成を目指す。

RC造、14階、延べ2313平方メートルの規模で、3LDK26戸。エレベーターは1基設ける。共用

アスク工業で着工

北6西8の賃貸MS新築

マルコウ(札幌市北區北6条西6丁目2、山崎豊裕社長)は、賃貸の仮称「北6西8マンション」新築を主体、設備一括してアスク工業に依頼し、着工した。2022年1月下旬の完成を目指すという。

RC造、5階、延べ608平方メートルの規模。単身社会人をターゲットに1LDK12戸を設ける。エレベーターは1基、駐車

型コロナウイルスの緊急事態宣言が大きく影響した。21日にまん延防止措置に移行してからは、若干利用が上向いたが、全体としては不振が続く。4月からの年度累計は85億4300万円で前年同期より31.9%多い半面、19年から見ると51.9%減となった。

グループ事業では、JR北海道ホテルズの9施設合計売上高は2億5000万円で前年同月比85%増、19年6月比73.5%増だった。客室稼働率は40.2%。観光向けのJRタワーホテル日航が21%と苦戦したが、ビジネス用途のJRインは比較的健闘した。

札幌駅総合開発が運営する4商業施設は39億8000万円で32.1%減、47.6%増。北海道キヨスクの土産店やコンビニの合計は6億8700万円で1.3%減、50.3%減だった。

景気持ち直しの兆し

DIはマイナス69で19ポイント増

北洋銀調査

北洋銀行が14日に発表した2021年道内景気・賃金動向に関する調査結果によると、全産業の景気の現状を表すDIはマイナス69で前年の調査時から19ポイント増えた。依然として低水準だが、コロナ禍の影響から広い業種で回復傾向にあり、景気の持ち直しを見せている。基本給と諸手当を含む定期給与の引き上げ、引き上げ予定は2割増の68%で、7割の企業が実施を検討していることが分かった。

道内の取引先699社を対象に5月下旬から6月中旬にかけて調査。58.9%に当たる412社から回答を得た。

道内景気の現状に関する「全体の3%が「回復」、72%が「悪化」とし、25%は「横ばい」とした。回復時期は「22年」が最も60%。木材・木製品製造以外の業種で回復を見込む割合が高かった。このほか「年内」が18%、「23年以降」が22%で続いている。

業種別のDIは、製造業、非製造業ともに前年を上回った。コロナ禍の影響が顕著だった食料品製造業が19ポイント増加のマイナス76、ホテル・旅館業は14ポイント増加のマイナス81とそれぞれ改善している。建設業はマイナス74で14ポイント上昇した。

先行きへの懸念材料(複数回答)では「新型コロナウイルスの動向」が9ポイント増の77%と最も多かった。他に「国内景気」

新規発売分譲MS154戸

成約は3カ月連続200戸台

札幌市内で2021年6月に新規発売された分譲マンションは、9物件154戸となったことが住宅流通研究所の調査で分かった。再開発が進む新築マンション周辺地区で、大和ハウス工業が建設する高層マンションが発売開始となったことにより、高水準を維持した。繰り越しを含めた成約は222戸。3カ月連続で200戸台の売れ行きとなっている。コロナ禍で落ち込んだ市況が回復しつつある。

内訳は中央区が5物件

2021年6月札幌新規マンション供給動向と分譲中平均価格

区分	6月		1-6月		平均価格 6月市場
	件数	戸数	件数	戸数	
中央区	5	23	38	375	4,291万円
北区	0	0	1	50	3,111万円
東区	1	5	5	65	4,284万円
白石区	0	0	0	0	-
厚別区	1	118	2	125	4,392万円
豊平区	0	0	5	91	3,237万円
清田区	0	0	0	0	-
南区	0	0	1	42	3,297万円

くら寿司道内初出店



トドを読み取るトドスマー、店員が数える必要はない。トフォンのブラウザーから注文可能だ。皿はレーンから取る際にAIカメラが自動で検知するタッチパネルのQRコードを

トドを読み取るトドスマー、店員が数える必要はない。トフォンのブラウザーから注文可能だ。皿はレーンから取る際にAIカメラが自動で検知するタッチパネルのQRコードを

ラソラ札幌に「非接触型店舗」

現在は店舗スペースを置く店舗数が5、6店舗に減った。非接触型店舗の増加は、店舗の運営コスト削減の一環として、顧客の接触を避けるため、来店客の数を減らすことが目的と見られる。今後、非接触型店舗の増加が期待される。

最低賃金引き上げ

「到底納得できない」

日本商工会議所など中小企業3団体は14日、2021年度の最低賃金の目安が28円の引き上げで

決着した。目安制度開始以降で最高額となる大幅な引き上げは極めて残念で到底納得できない」とするコメントを発表した。

日商と全国商工会連合会、全国中小企業団体中央会の3団体が連名で発表した。21年度の最低賃金の目安を巡っては、中央最低賃金審議会の小委員会が14日、過去最大となる前年度比28円の引き上げで決着。3団体は、長引く新型コロナウイルスによる飲食業や宿泊業などの厳しい業況を踏まえ、現行水準の維持を訴えていた。

3団体は今回の改定について「中小企業・小規模事業者の窮状、とりわけ困窮している飲食業や宿泊業などの事業者の実態や痛みを理解していない」と批判。その上で、「多くの従業員が、雇用関係の不安定化により、収入が減少している」と訴えている。